

熊本県立高校One Teamプロジェクト事業 北高 & 菊農 Co-Creation ～普通科系高校と専門学科系高校との共創～

チーム参加校 ◎熊本北高校、菊池農業高校

事業の経緯と目的

昨年度の取組では、「液状化現象」のメカニズムについて考えるとき、住宅地や道路では液状化現象が起こらないようにするという発想と、水田では液状化現象を起こさせるという発想があり、同じテーマの研究でもアプローチする視点が複数あることに、生徒達だけでなく、職員も気づくことが

できた。このように、普通科系高校と専門学科系高校のそれぞれの学びの中での見方・考え方をすることは、探究のプロセスをpushしながら、研究を深化させる点で互いに参考になることが期待できる。また、互いの強みと弱みを知りつつ共同研究の可能性を探り、共創していく。

合同発表会及び学習会を実施し、生徒及び教職員が異なる学科系高校における研究への取り方を学び合うことで、互いの強みを生かしながら教育活動の深化を図る。また、この機会を教職員同士のスキルアップと今後の教育活動で高校間連携を図る一助とする。

竹林での伐採体験及び合同学習会



図 竹林伐採及び合同勉強会の様子

11月14日(月)に、県のOne Teamプロジェクト事業を利用して、菊池農業高校のSDGsプロジェクト班と本校自然科学部員による菊池公園の里山の侵入林伐採を実施した。NPO法人菊池公園

歴史の森の方が里山保護を目的に活動をされている場所で、菊池農業高校のプロジェクト学習のフィールドのひとつとなっている。

データサイエンスの観点を利用して、地域課題

解決を行えないかを実地研修を通して探ることも目的として実施した。

体験後は、それぞれ研究発表を行った後、協議を実施した。互いの学校に無い視点を学ぶ貴重な機会になった。